

令和4年度 関商工会議所 経営発達支援事業の評価委員会 報告書

日 時	令和5年8月22日(火) 16時00分～17時00分
場 所	関商工会議所 会議室
出席者	(評価委員) 委員長 遠藤 久志 (中小企業診断士) 小川 善朗 (関市役所商工課 課長補佐) (事務局) 直井 貴史 (事務局長) 松井 則潔 (経営支援員)
協議概要	事務局より「経営発達支援事業実施支援数&TAOS入力表」に基づき令和4年度実施状況の報告がなされ、計画値とそれに対する実績、達成・未達成要因の分析、事業効果に関する説明がなされた。それを受け、評価委員より下記の評価結果を得た。
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の経営発達支援計画の実施状況については、「コロナ禍という特殊事情の中、着実に事業者支援を遂行した」と評価。 ・新たな5ヶ年計画の1年目となるが、コロナ1年目であった令和2年を基準に目標設定されたことに由来する、計画と実績の乖離については致し方がないものと評価した。 ・前年期中にベテラン経営指導員の退職があり、会員情報やノウハウの継承が適切になされているかどうかという懸念があったが、着実に引継ぎを行っているとの報告があり、この点は大いに評価に値するものと考える。 ・一部項目について、実績の適切な入力になされなかったことにより未達となったものがあったということで、今後は実績が適切に評価できるよう、体制づくりに努めていただきたい。 ・今後はアフターコロナの時代に突入したことから、巡回支援や会員間交流などを積極的に実施していただくことを期待したい。 ・コロナは収まりつつあるものの、燃料代や電気代高騰、人手不足などの経営課題に直面している事業者は多いものと考えられることから、次年度以降も引き続き会議所内人材育成を図りながら、事業者支援に注力していただくことを期待したい。
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告書抜粋 ・経営発達支援事業実施支援数&TAOS入力表

